

## 患者さまへ

### 「透析中運動療法が透析患者に与える臨床効果に関する検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2023年10月～2024年6月までに当院で透析中に運動療法を受けた/る方
2 研究目的・方法	<p>透析患者さまに対する透析中運動療法※の有用性は示唆されていますが、有用性に関するメカニズムは現在まで十分解明されているとは言えません。また、透析中の運動が下肢血流を改善するかどうかを検討した研究はほとんどありません。そのため、この研究では、透析中運動療法を行うことで下肢血流の改善が認められるかどうかを検討すると同時に、透析中運動療法の効果を多面的に評価・検討します。</p> <p>※透析運動療法は、準備体操(足関節、膝関節、股関節の体操)、レジスタンストレーニング(動画を見ながらの42種類の筋力増量トレーニング)、有酸素運動(仰臥位駆動型エルゴメーターを使用し、臥位で20分間持続的運動として行う)の順番で実施し、週3回、透析開始30分後から透析前半の時間帯に約40分かけて行うものです</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024年6月予定)～2026年12月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、体重、病歴、薬歴、自覚症状、他覚症状、血液データ、シャント血流、下肢血流検査、身体機能検査、運動機能データ、末梢血単核球細胞解析データ等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 大竹剛靖 湘南鎌倉総合病院 腎臓病総合医療センター、再生医療科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p>

2024年6月27日作成(第1.1版)